

1月11日(木) 学校保健委員会 兼 PTA 講演会 報告 (PTA生活委員会)

学校保健委員会兼 PTA 講演会に小中学部、合わせて21名の保護者の方にご参加いただきました。講師の群馬パース大学 教授 中下富子先生による「障害のある子どもの性に関する課題とその対応」について講演をしていただきました。



〈講演の内容〉

○二次性徴に伴う身体の変化、月経、精通現象について

8歳くらい(小学部3年生)に近づいたら意識していきたい。身体の変化(胸のふくらみ、発毛、夢精、月経等)にとまどってしまう場合があるため、まず家族が子どもの性を喜ばしいものとして受け止めることが大切。

【月経について】

月経の手当てについて、順序立てて、ていねいにその都度教えていくことで身につけていく。

【夢精やマスターベーションへの対応】

夢精への対応について、朝起きて下着が濡れていたら着替える習慣が必要。

マスターベーションへの対応について、行ってもよい「場所」と「時間」を決めて、安心できるようにする。

【性器いじりへの対応】

さり気なく繰り返し声をかけてしまわせる等、家庭でも学校でも同様の対応をすることが重要。3~6ヶ月と時間を要するが効果がでてくる。

○プライベートゾーンの大切さ

プライベートゾーンとは、水着を着用した時に隠れる場所。自分だけの大事なところ。

家庭内でプライベートゾーンを意識する。異性の家族は、お子さんにとって最も身近な異性になる。「生活年齢」に合わせた日常生活を送る。

○身近な人とのかかわり

パーソナルスペースを守るためのいいタッチ(ハイタッチやグータッチ)、悪いタッチ(いきなり抱きつく、いきなり触る)。

〈参加者の声〉

- ありがとうございました。性のことやプライベートゾーンなど日頃人に聞きづらいことなどが聞けたので良かったです。子どもの成長とともに親も色々考えていかないと思いました。
- 障害のある子どもの性に関する対応について学ぶことができて良かったです。今からできることもたくさんありましたので、早速やっていきたいと思います。今後、悩むことも出てくるかと思いますが、学校と連携して乗り越えていけたらと思います。本日はありがとうございました。
- 先生のご経験をまじえて具体的な話を聞くことができました。不安に思っていたことを分かりやすく教えていただけたので、少し安心しました。学校の先生と情報を共有しながら、これからの成長を見守っていきたいと思います。
- 性についてとても心配でした。しかし、講演会に参加させていただき、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 気になっていても、なかなか詳しいお話を聞ける機会がなかったので、とても勉強になりました。ありがとうございました。
- 本日は参考になるお話をありがとうございました。普段、性に関する話を聞くことができませんので、貴重なお話でした。

といった感想を多数いただきました。